

公益信託しずぎんふるさと環境保全基金

2019年度 助成募集要項

公益信託しずぎんふるさと環境保全基金は、1993年3月株式会社静岡銀行創立50周年を契機として、地域との共生を目指す企業理念の実現に向け設立されました。設立以来、2018年度までの助成件数は延べ586件、助成総額は7,520万円の実績があります。

1. 目的

静岡県内で環境保全活動に取り組まれている個人や団体などへの助成事業を通じて、かけがえのない郷土の自然環境を守り、緑豊かで潤いのある生活環境づくりに寄与することを目的としています。

2. 助成対象事業

当該助成は2020年度（2020年4月～2021年3月）に行う①～③を対象にします。

①環境保全活動
・ 緑豊かな森林資源の保全活動
・ 海岸、河川、湖沼などの水辺の環境美化活動
・ 野生鳥獣などの生態系の保全活動
・ すぐれた自然環境の保全活動
・ うるおいある都市景観の創造および保全活動
・ その他快適な生活環境の創造および保全活動
・ 地産、地消を中心とした環境保全型エネルギー推進活動
②環境保全活動を推進するための調査研究
※調査研究は、学術的研究や調査のみで終るのではなく、併せて①環境保全活動または③環境保全活動の普及・啓発の事業を実施する場合に限り申請が可能です。 学術的研究や調査のみの申請は審査対象外となります。
・ 対象地域の環境調査
・ 調査研究のための資料、文献収集
・ 調査研究会の開催
③環境保全活動の普及・啓発
・ 環境教育推進事業（セミナー、講演会などのイベントの開催）
・ 環境保全活動に関する各種キャンペーン活動 （空き缶、空きビンなどのリサイクル運動、古紙回収運動、省エネ・省資源運動など）
・ 環境保全に関する普及啓発のための資料作成（パンフレット、小冊子など）

※①～③における学校等教育機関の応募は、学校教育の範囲を越えた地域貢献に寄与する活動が助成対象となります。

3. 応募資格

静岡県内の地方公共団体又は非営利団体若しくは個人とします。

なお、3年連続の助成は行わない規定により、2017年度、2018年度に連続して助成を受けた先は、2019年度は申請できません。

※応募者又はその代表者が次に該当する場合は、当基金給付規程に基づき、給付の対象外となります。
暴力団、暴力団員等（暴力団員でなくなつてから5年を経過しない者を含む）もしくは暴力団関係企業又は総会屋等、社会運動等標ぼうゴロもしくは特殊知能暴力集団その他これらに準ずる者と認められる場合。

4. 助成金

助成金は、活動を行うために必要な費用の一部助成として、当基金運営委員会の審査に基づき決定

します。2019年度の助成総額は300万円を予定し、1団体（個人）あたり50万円程度を上限としています。

5. 申請方法

当基金所定の「2019年度助成金給付申請書」に必要事項を記入し、「助成金給付申請書記入要領」記載の資料を必ず添付のうえ10.の送付先宛に郵送して下さい。（メールでの申請は受付できません。）

なお、申請書（ワードファイル書式）を希望される方は、メールにて送信いたします。下記事務局メールアドレス宛に連絡ください。

6. 受付期間

2019年11月1日（金）～2019年12月27日（金）（消印有効）

7. 選考の方法

選考は、2020年2月に開催予定の当基金運営委員会により選考を行います。

運営委員会では、助成対象事業に該当する事業であることを峻別し、その活動意義・助成金の使途・事業実現性・事業の広がり・事業継続性・地域社会への貢献度等の選考基準に基づき審議し選考します。

8. 助成金の給付

2020年3月に銀行振込により給付します。

9. 報告義務

助成を受けた者は、所定の報告書を作成し、2020年12月30日までに提出して下さい。

なお、当助成金を使用して購入・作成する機材・看板・冊子・印刷物などには、『公益信託 しずぎんふるさと環境保全基金の助成事業である』旨の表示をして下さい。

10. 申請書類の送り先

三菱UFJ信託銀行株式会社リテール受託業務部公益信託課
（〒164-0001 東京都中野区中野3-36-16）

又は、

静岡銀行本支店

【問い合わせ先】

◆三菱UFJ信託銀行株式会社 リテール受託業務部 公益信託課

フリーダイヤル：0120（622372）[受付時間 平日9時～17時 土・日・祝日等を除く]

担当：しずぎんふるさと環境保全基金担当（メールアドレス：koueki_post@tr.mufg.jp）

メールの件名には、必ず『しずぎんふるさと環境保全基金申請』を記載して下さい。

◆株式会社静岡銀行 経営管理部 総務グループ TEL 054(345)9260 担当：青木

<助成金給付申請書記入要領>

本申請書は、助成先選考を行なう運営委員会の資料となりますので、以下の要領に従って記入してください。

(1) 助成金給付申請額

50万円を上限として、**1万円単位**でご記入ください。

(2) 助成対象事業

該当番号に☑印をしてください。

②調査研究は、学術的研究や調査のみで終るのではなく、併せて①環境保全活動または

③環境保全活動の普及・啓発の事業を実施する場合に限り申請が可能です。

学術的研究や調査のみの申請は審査対象外となります。

(3) 事業概要の分類

該当番号に☑印をし、その他は（ ）にご記入ください。

(4) 申請者の概要

どのような活動をしている組織又は個人なのか、1～7の項目に正確にご記入ください。

(5) 今回申請する助成金の使途

助成金はどのような活動に使うのか、**助成金の使途（購入品、支払対象）・金額**について具体的にご記入ください。**【消耗品（コピー用紙、インクトナー等）は助成対象外となります。】**

なお、助成対象事業の収支計画の詳細につきましては**別紙「助成金明細表」**にご記入下さい。また、活動内容と申請理由は**活動意義、申請事業の実現性・広がり・継続性、地域社会への貢献度等**を具体的にご記入ください。

(6) 当助成金への申請状況

過去に「公益信託 しずぎんふるさと環境保全基金」へ申請したことがあるか、また、給付を受けたことがあるか、についてご記入ください。**万一誤った記載等があると書類不備となりますのでご注意ください。**

(7) 申請者連絡先

申請者の連絡先として電話番号・メールアドレス、郵便送付用宛先（郵便番号・住所・氏名）をご記入ください。なお、郵便送付用宛先は、事務局から郵送物を送付する際に使用いたしますので、お間違えのないようにご記入ください。

(8) 申請時に必要な書類(必須)

所定の申請書

会則（定款等）及び会員名簿（構成メンバーの役割が分かるもの。個人の住所・電話番号等は記載不要）

予算書・決算書（いずれも**申請団体の直近の作成済のもの**）

申請者の活動概要が分かる資料（応募者の発行するパンフレット等でも可）

申請者の直近一年間の活動実績を記載した書類（年間の活動記録）

その他 **活動実績に関連する資料**（作成物、調査結果、研究成果、新聞記事、写真など）

以上

* ご不明な点等がありましたら下記事務局までお問合せください。

(事務局)

三菱UFJ信託銀行株式会社 リテール受託業務部 公益信託課

〒164-0001 東京都中野区中野3-36-16

フリーダイヤル：0120(622372) [受付時間 平日9時～17時 土・日・祝日等を除く]

担当：しずぎんふるさと環境保全基金担当（メールアドレス：koueki_post@tr.mufg.jp）

メールの件名は、必ず「しずぎんふるさと環境保全基金申請」で、お願い致します。

公益信託 しずぎんふるさと環境保全基金
受託者 三菱UFJ信託銀行株式会社 御中

2019年度助成金給付申請書

この申請書および添付した資料に記載されている事項は、助成金の支給対象者の選考等、当公益信託の運営に必要な範囲で、当公益信託の運営委員・信託管理人・委託者が取得・利用すること、また、支給が決定した場合は、氏名、所属、研究テーマ等の情報が主務官庁へ提供される他、一般に公開されることについて、同意のうえ応募します。

申請者の住所 _____

フリガナ _____

申請者の名称 _____ (団体・法人名、または個人名) 印

フリガナ _____

代表者の氏名 _____ (団体・法人の場合) 生年月日 (. .) _____

(1) 助成金給付申請額 , 円 (50万円を上限として1万円単位でご記入ください)

(2) 助成対象事業 該当番号に をつけてください。
① 環境保全活動 ② 環境保全活動を推進するための調査研究 ③ 環境保全活動の普及・啓発

②調査研究は、学術的研究や調査のみで終るのではなく、併せて①環境保全活動または③環境保全活動の普及・啓発の事業を実施する場合に限り申請が可能です。学術的研究や調査のみの申請は審査対象外となります。

(3) 事業概要の分類 該当番号に をつけてください。
1 環境保全全般 2 地域環境整備 3 森林の保護 4 水質環境の保全
5 その他 ()

(4) 申請者の概要

- 活動歴 _____ 年 _____ ヶ月 (発足：平成/昭和 _____ 年 _____ 月)
- 構成人数 _____ 名
- 主な構成員

4. 活動目的・活動状況

5. 活動成果・表彰実績

6. 現在の活動費用の財源 (必ず最新年度の予算書・決算書を添付下さい。学校等の場合でも現在の活動の財源等についてご記入下さい)

7. 他の助成金の申請状況 (名称・金額)

(5) 今回申請する助成金の使途

1. 助成金の使途 (該当番号に の上、明細を別紙「助成金明細表」にご記入下さい)

- 1 調査・研究費用 2 維持管理費用 3 普及・啓発活動費用
 4 資材等購入費用 5 その他 ()

[明細] (購入品、支払対象、金額を 別紙 「助成金明細表」に 具体的にご記入下さい)

2. 今回申請する助成金を使って行なう活動内容および申請理由等
 (活動意義・事業実現性・事業の広がり・事業継続性・地域社会への貢献度等を具体的にご記入下さい)

(6) 「しずぎんふるさと環境保全基金」の申請状況

1. 過去に当助成金を申請したことが
 ア 有 (年度・ 年度) イ 無

2. 過去に当助成金の給付を受けたことが
 ア 有 (年度 万円) (年度 万円) イ 無

※当基金を何でお知りになりましたか？

静岡銀行職員からの案内 県のHP・イベント等 知人の紹介 その他()

(7) 申請者連絡先

連絡担当者名 _____

TEL : ()

携 帯 : ()

メールアドレス : (PC)

※郵送物を送付する際にはこちらの住所記入欄をそのまま使用いたしますので、お間違いのないようにご記入ください。

〒 □□□□ — □□□□□□

住所 _____

氏名 _____

※受託者は、個人情報の保護に関する法律（2003年5月30日法律第57号）に基づき、申請者の個人情報を、当公益信託業務を遂行するために必要な範囲内に限定して利用致します。

(別紙) 助成金明細表

助成対象事業の収支計画

① 【収入の部】

項目	金額 (万円)	
助成金給付申請額	< > 万円 (A)	申請書 1 ページの助成金給付申請額と同額になります。(万円単位)
他の助成金 (申請中も含む)		
助成事業の収入見込み		
自己資金・その他		
合計 (総収入)	(C)	

② 【支出の部】

(単位: 万円)

	a	b	小計 (a + b)
支払対象	本助成金で充当する金額	その他で充当する金額	小計
① 物品・資材購入			
② 事務・消耗品費			
③ 印刷、広告費用			
④ 施設・設備使用料			
⑤ 郵便・通信費用			
⑥ 雑費等			
合計	(B) < > 万円		< D >

*A=B、C=D となります。

③ 【支出の明細】

上記支出のうち主要な購入品、支払対象をご記入下さい。

	主要な購入品、支払対象 ※単価、数量等がわかるように記入してください。 ※消耗品は助成対象外となります。
① 物品・資材購入	
② 事務・消耗品費	
③ 印刷、広告費用	
④ 施設・設備使用料	
⑤ 郵便・通信費用	
⑥ 雑費等	